

人的資本経営研究会 第1回ワークショップの開催

本研究会では、人的資本経営導入支援の一環かつ年間の大きな取組として、人的資本開示レポートの作成・開示を行う。第1回目のワークショップでは当該取組の概要について説明した。

人的資本経営とは、**人材を「資本」として捉え**、その価値を最大限に引き出すことで、**中長期的な企業価値向上につながる経営のあり方**のこと。

概要

当該取組に至った経緯

- 広島県の就業者数や平均労働時間が減少していく長期的な流れの中で、県内企業にとっては、労働生産性の向上が重要な経営課題である。
- こうした背景があり、労働生産性、ひいては企業価値の向上に繋がる取り組みの一つとして人的資本経営導入支援を商工労働局人的資本経営促進課が中心となり支援している。

第1回目ワークショップの内容

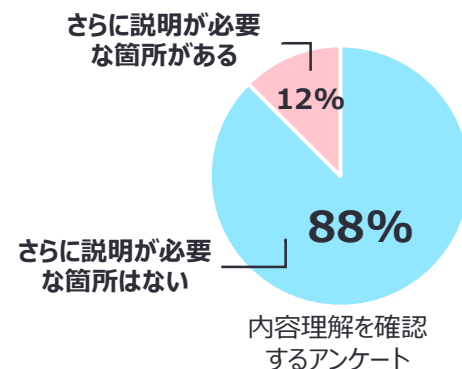
- ① そもそも人的資本経営とは何か説明
人的資本経営の定義・目的・重要性を世の中の動向を踏まえて説明。
- ② 人的資本開示をする目的・効果を説明
人的資本経営を推進するために、人的資本を「可視化」し、改善のサイクルを回すための有効な手段であり、開示自体が目的ではないことを強調して説明
- ③ 本取組の年間スケジュール・体制を説明
年間で取り組む内容の説明や各ワークショップのトピック等を説明



当日の登壇者
EYストラテジー&
コンサルティング
古谷マネージャー

取組の成果

- 参加者の大部分の方が今回のワークショップ内容を理解いただいた。
- さらに説明が必要な箇所があると回答は、具体的な開示レポート内容と今後のスケジュール詳細についてであった。



当日の様子



36社 42名が参加
(現地とオンライン合計)

今後の予定

- 次回のワークショップでは、人的資本経営・開示の最新動向と事例のご紹介します。また上記アンケート結果も踏まえて、より具体的なイメージが湧くように開示レポート例をご紹介します。合わせて、開示レポート作成時に使用する標準開示ツールの詳細な説明もする予定。